

暮らす街を 守れる人に



郡上市消防団員 募集中!!

◆消防団とは

消防団は消防本部・消防署と同様に市町村の消防機関です。「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、普段はさまざまな仕事に就いている住民が非常勤特別職の地方公務員として災害などに対応します。

現在、郡上市の団員数は1907名(内 支援団員148名)で、各方面隊が連携し活動しています。女性消防団員は本部に

20名在籍し女性ならではのきめ細やかな対応で、地域に密着した活動を行っています。

◆災害時の活動

火災が発生すると、消防職員と協力して消火活動や近隣住民の安全確保、周辺の交通整理等を行います。消防職員よりも先に到着することもあるため、消火活動や消防職員の後方支援等その場に応じて活動します。

《救助活動》

災害が起こったときは、地域を知り尽くした消防団の救助活動は大きな力になります。大規模災害時には発生直後から地域と連携し、救助活動や避難誘導を行います。

《水防活動》

風水害の際には、河川等の警戒、土の積みなどの防災活動を迅速に行います。また、消防職員と協力して住民の避難や救助を行い、災害復旧作業も支援します。

◆平常時の活動

《消火・防災訓練》

火災現場を想定した訓練(放水訓練等)を行っています。各地域で開催される防災訓練にも積極的に参加しています。

《防火啓発活動》

各家庭を訪問し、防災指導などの啓発活動を行っています。また、地域の高齢者宅を訪問したり災害時に救護が必要な人を把握することも重要な役割です。

《救急講習会》

住民がいざというとき、病気やケガに素早く対応できるように、AEDの使い方をはじめとした応急手当の普及・啓発を行っています。

消防団員インタビュー

～若き消防団員の声を聞きました～

- ①消防団に入ったきっかけは? ②平常時の活動は?
③消防団に入って良かったことは? ④みなさんへメッセージをお願いします。



そが ともかず
曾我東茂一さん
(白鳥方面隊)
団歴20年

- ①消火活動など現場活動に興味があり、入団しました。
- ②自治会のみなさんと消火栓の取扱いなど防災活動をしています。
- ③消防団員の仲間ができたことです。
- ④自分の地域を守る使命を感じることが出来ます。



まつい けんしん
松井 憲伸さん
(美並方面隊)
団歴1年

- ①同年代の団員に誘われ入団しました。
- ②各種訓練や防火啓発活動などを行っています。
- ③地域のみなさんとの交流の場ができたことです。
- ④一緒に郡上市を守っていきましょう。



たけいち しゅうへい
竹市 周平さん
(明宝方面隊)
団歴1年

- ①地域のみなさんから誘われて入団しました。
- ②操法訓練の参加や地域の巡視活動をしています。
- ③移住してきたので、地域の若い世代との出会いや交流の場ができたことです。
- ④郡上のために頑張りますのでお願いします。

消防団員募集!

みなさん、一緒に愛する郡上を守りませんか。仕事に就きながら、子どもを育てながら、地域の安全と安心のため力をあわせる消防団員。一人ひとりの想いと決意が地域のみなさんの笑顔に!

入団手続等については、下記または地元消防団員までお気軽にお問合せください。

☎ 消防本部消防総務課 ☎ 67-1216 総務部総務課 ☎ 67-1832
または各振興事務所振興課



さきはら かずき
笹原 一輝さん
(和良方面隊)
団歴1年

- ①職場の先輩に誘われ入団しました。
- ②地域巡視や水立点検、消防訓練などを行っています。
- ③地域のみなさんと交流する機会ができたことです。
- ④一緒に活動して地域を守りましょう。

春の 全国火災予防運動



3月1日（日）から7日（土）までの1週間は「春の全国火災予防運動」です。この季節は、空気が大変乾燥し火災の発生しやすい時期となります。火の取り扱いには十分注意し火災の発生を防ぎましょう。

◆令和元年度全国統一防火標語◆

「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」

火災件数

平成30年の全国での火災件数は37,981件でした。

これは、おおよそ1日あたり104件、約14分ごとに1件の火災が全国のどこかで発生していることとなります。

出火原因は「たばこ」が最も多く、続いて「たき火」「こんろ」…となります。

市内では令和元年、17件の火災が発生しました。

前年と比べると建物火災10件で3件増加、林野火災1件で5件減少、枯草火災等6件で1件増加しています。火災によりケガをした人、亡くなられた人がそれぞれ1人ありました。

火災に早く気がつき早く避難するためにも、お住まいの建物には必ず住宅用火災警報器を設置してください。またすでに設置してあるお宅は、維持管理にも注意していただくようお願いします。



住宅用火災警報器の点検・保守

◎自分でできる点検の仕方 ▶ボタンを押して点検 ▶ひもを引っ張って点検

※音が鳴らない場合は電池切れ、故障の可能性があるので機器の交換が必要です。

◎市では、郡上市ミニ行政パートナー事業による点検を実施していますので、ぜひご利用ください。

①点検の方法がわからない。点検ができない。②機器の調子が悪いが交換できない。

③購入したが取り付けられないなど、お困りの人は、無料で点検や取り付けができます。

※機器の購入、修理は、有料となります。



屋外の火災に注意！

これからの時期は屋外での火の取り扱いによる枯草等の火災が発生する危険性が高くなります。特に今年は、冬期の降雪、積雪が少なく、例年より乾燥することが考えられます。ちょっとした不注意が原因のものが多く、一人ひとりが火の取り扱いに注意することで防ぐことができます。

●燃えやすい物の近くで火を使わない

枯草等の近くで火を使えば、当然火災が起こる危険性も高くなります。喫煙及び吸い殻の投げ捨ては絶対にしないでください。

●空気が乾燥し、風の強いときは屋外で火を使わない

周囲の枯草などに飛火し易く、広がる可能性が高いため、火を使うことは止めましょう。

●その場を離れない

火の取り扱い中は絶対にその場を離れないようにし、確実に消火したことを確認しましょう。



全国山火事予防運動

(3月1日から3月7日)

山火事予防統一標語

～守りたい 森と未来を 炎から～

これからの季節は林野、枯れ草火災等が発生しやすい気象状況となります。一度林野火災が発生すると被害が大きくなりやすく、貴重な森林を消失させ、その回復には多くの費用と時間がかかります。

郡上市の多くを占める森林は、自然環境の保全、土砂災害や洪水被害の防止、木材の供給といった私たちの生活に重要な役割を果たしています。

かけがえのない森林を守るため、一人ひとりが火の取り扱いには十分注意して山火事を防ぎましょう。

☎ 消防本部予防課 ☎ 67-1219